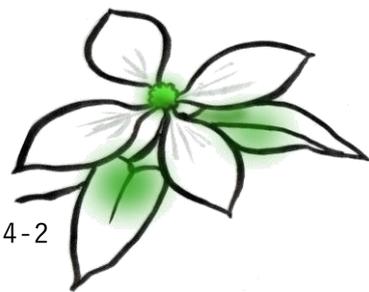


NPO法人園芸療法研究会西日本

NEWS LETTER 'HANATOWA'

はなとわ

2024年4月1日発行
H.T.W. NEWS 通巻第120号
〒664-0831 伊丹市北伊丹 3-64-2
TEL & FAX 072-783-8739
URL <http://www.ht-w.org/>
E-mail: info@ht-w.org



第12回総会記念講演のご案内

日 時 2024年6月2日(日)
10:00 開場
10:15-11:00 会員総会 1部
11:15-12:00 会員総会 2部
13:00 記念講演受付開始
13:30-15:30(オンライン開催 15:30まで)
講演会 休憩 質疑応答含む
交流会 15:40-16:30 解散

場 所 難波神社 2階集会室
大阪市中央区博労町4丁目1番3号

記念講演 毛利ユカ氏

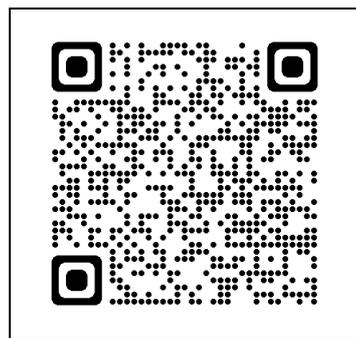
演 題 理想の幸福と現実の幸福
～園芸療法士歴25年目にして～

参加費 学生 1,000円
会員 2,000円
一般 3,000円
※オンライン参加の方は
参加費事前振込みをお願いします

定 員 会場参加 50名
申し込み QRコードから申込み もしくは

info@ht-w.org 事務局へ
メールにて氏名と講演会申込と記入して送信ください。
折り返し申込みフォーム URL を返信します。

申し込み期限 5月29日(水) 定員になり次第締切



毛利ユカ氏 プロフィール

東京農業大学大学院修了 いばらき園芸療法研究会 代表

日本園芸療法学会認定 上級園芸療法士

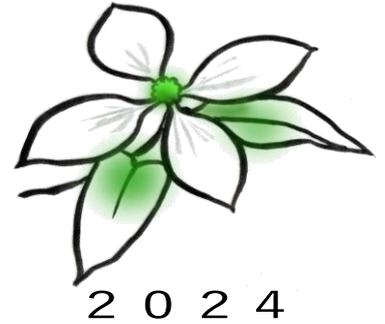
2001年、いばらき園芸療法研究会(IHT)立ち上げ。2003年緑のデザイン賞で国土交通大臣賞受賞。2013年農水省の交付金を得てIHT園芸療法士養成講座開始。2020年園芸療法グループLINE「ルラシオンヴェルト」を開設。現在162名在室。親子の自然体験教室「こども農学部」やレンタルガーデンなど園芸療法をベースとした活動も展開中。HP→まちのにわ常総 <https://machino-niwa.com/>

NPO法人園芸療法研究会西日本

NEWS LETTER 'HANATOWA'

はなとわ

2024年7月1日発行
H.T.W. NEWS 通巻第121号
〒664-0831 伊丹市北伊丹 3-64-2
TEL & FAX 072-783-8739
URL <http://www.ht-w.org/>
E-mail : info@ht-w.org



第12回 定期総会報告

宮上 佳江（NPO法人園芸療法研究会西日本理事長）

本会の方向性を協議する総会ではA案、B案各2計4つの選択肢を例示しました。

A案：本会を意欲ある方に継承

① NPO法人として事業を継承

② NPO法人を解散 新たな継承者が考える運営、活動に変更

B案：本会を継承する意欲ある方がいない場合

① 他団体と合併

② 本会を解散

以下に会員からの声を記して次回の話し合いにつなげます。

- ・人心一新、運営を変えるか。他団体との合併が良策かもしれない。
- ・会の目的が見えていない。迷走中。つながり、仲間づくり。スキルアップ。
講師派遣は団体としての力が必要だと思う。
- ・解散はしてほしくない。今から園芸療法をスタートする人の入口として必要ではないか。
- ・NPO法人にこだわる必要は無い。オンライン上で残せるか。新しい学びの場をつくるeラーニング等を使えたらよい。
- ・発信の場があればよい。
- ・形を変えて存在してほしい。かわり方がいろいろある。交流の場、切り口はまだある。
- ・（園芸療法を学ぶ）講座を続けられたらよいが、実際の現場を視ることが有効だった。
他団体との合併がよいのか。
- ・（運営は）がらりと変わるが、会の意志は継いでほしい。
- ・NPO法人でなくてもよい。会を残して続けてほしい。学びの場となる。
- ・会が無くなるのは避けたい。公文先生の遺志。他団体はあゆむ会との合併か。今実施している事業（長居植物園ほか）も引き継いでほしい。
- ・続けてほしい。
- ・（園芸療法学びの）窓口として必要。他団体との合併か。
- ・NPO法人は解散させて、形を変えて続けるべき。
- ・解散でよいのでは。

前出ご意見を踏まえて毎月開催している実行委員会と9月、12月の理事会で協議を進めます。7月、8月の実行委員会は購読会員、正会員のどなたでも参加できます、zoomURLを会員メールアドレスに送信しますので、会の方向性についての話し合いに参画をお願いいたします。